



第47号

# 砂防トピックス 青森

青森県河川砂防課 編集・発行（令和6年2月）

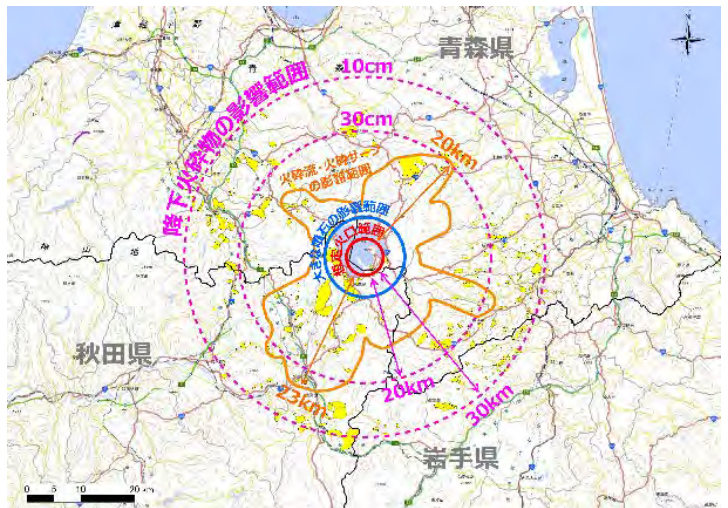
## 十和田火山噴火緊急減災対策砂防計画の策定（令和5年12月）

十和田火山は、青森県と秋田県の県境に位置しており、直径約11kmのカルデラ湖を有する活火山です。少なくとも過去に3回の巨大な火砕流を伴うマグマ噴火が発生しています。直近の噴火実績である915年の噴火は、過去2,000年間に国内で起きた噴火の中では最大規模であり、噴火後の火山泥流が想定火口から80km以上離れた日本海にまで達し、甚大な被害をもたらしたと推定されています。

そこで、噴火の影響を受ける青森県、秋田県及び岩手県では、噴火により発生する土砂災害に対して、被害をできる限り軽減（減災）することを目的に、令和3年度から共同で「緊急減災対策」の検討を行ってきました。火山噴火に対しては、砂防堰堤等の整備により土砂災害を皆無にすることは非現実的であるため、短期間で実施可能な減災対策を検討するとともに、計画に沿って行動できるよう、関係機関で調整事項等を検討しました。

今般、学識者等で構成する検討会を経て、令和5年12月25日、「十和田火山噴火緊急減災対策砂防計画」を策定しました。主な対策は、人家を保全する「仮設堰堤の設置」や、土石流等を監視する「監視カメラの設置」等です。

今後は、緊急減災対策の実効性を高めるため、県砂防部局や市町村防災部局等で構成するワーキンググループを設置し、具体的な役割分担や実施方法等の検討を行います。



中規模噴火時の災害想定影響範囲



緊急減災対策のイメージ

## Aomori River management 2nd stage～A!River II プロジェクト～の始動

青森県では、川づくりに関わる技術力を底上げし、その技術力を継続して向上させることを目的に、令和4年12月から、「Aomori River management 2nd stage」（A!River IIプロジェクト）を始動しています。

砂防事業においては、若手技術者の人材育成の一環として、砂防堰堤の落差解消の検討、魚道基礎知識の習得のため、弘前大学、（一財）砂防・地すべり技術センターと深浦町の津梅川4号堰堤等の現地調査を実施しました。今後は、参加者全員でディスカッションしながら工法検討等を行います。



現地調査（津梅川4号堰堤）



課題検討の様子

## 土砂災害危機管理研修会の開催

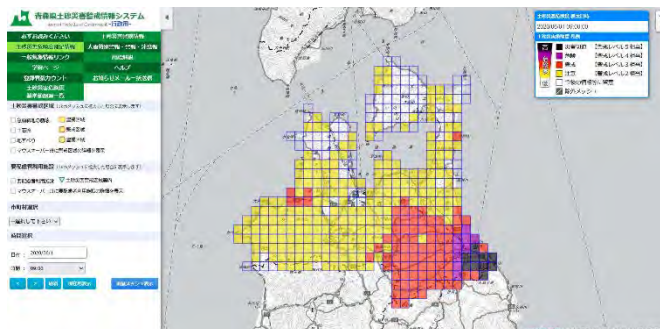
本格的な降雨シーズンを迎える時期、7月25日（火）、26日（水）に「土砂災害危機管理研修会」を開催し、市町村防災部局担当者など計28名が参加しました。この研修会は、土砂災害に対して、市町村が万全な警戒避難体制をスムーズにとり、迅速かつ確実に避難指示等を発令できるよう支援することを目的に開催しています。

研修会では、土砂災害に関する基本的説明のほか、各種防災気象情報の収集・活用方法や警戒避難の考え方、平常時からの検討事項などについて説明した後、各自がパソコンを操作し、青森県土砂災害警戒情報システム等を利用したシミュレーション演習を実施しました。

研修後のアンケートでは、土砂災害の映像を視覚的に確認できたことにより、改めて土砂災害の怖さを実感できた等の感想をいただきました。今後も研修会を通して、積極的に市町村の支援を行いながら、土砂災害による人的被害の軽減に結び付けたいと考えています。



講習会の様子



青森県土砂災害警戒情報システム

## 砂防ボランティアによる活動

青森県砂防ボランティア協会（代表伊藤文二）は、下記の活動を行いました。

### 【ヤマメ放流支援と魚道清掃】

中泊町「滝ノ沢ふるさと砂防愛ランド」にて、子供達と共に夢を創る会が主催するヤマメ放流会が6月9日(金)に開催されました。

当日は、中里小学校3年生によるヤマメの稚魚放流のほか、河川砂防課職員から土砂災害についての防災教育を行いました。



### 【滝ノ沢イワナ産卵床維持管理活動】

外ヶ浜町の滝ノ沢砂防ダム下流にてイワナ産卵床の維持管理活動を10月6日(金)に行いました。

イワナ産卵床が洪水時の土砂流入により一部が埋塞するため、対策として平成22年度より活動を行っています。



## 雪崩防災教室の開催

青森県では、平成8年度より12月1日から7日までの「雪崩防災週間」に、雪崩災害に対する基礎知識の習得と防災意識の向上を図る目的で、県内の小学生を対象に雪崩防災教室を開催しています。

今年度は、12月5日（火）に佐井村立佐井小学校で開催しました。児童の皆さんには雪崩災害の恐ろしさ、雪崩の基礎知識とその対策及び小学校周辺の雪崩危険箇所について勉強していただきました。

また、下北管内で発生した令和3年度の土砂災害を踏まえ、砂防模型を用いて土砂災害の基礎知識を説明しました。

児童からは、「土砂災害や雪崩災害の映像を見て、被害の大きさに驚いた」などたくさんの感想をいただきました。雪崩、土砂災害について考えていただく良い機会にできましたと感じています。



パワーポイントを用いた説明



砂防模型実験

## 土砂災害防止講演会の開催

国土交通省と都道府県では、昭和58年から毎年6月を「土砂災害防止月間」として定め、梅雨や台風シーズンにおいて、県民一人ひとりが土砂災害の防止や被害の軽減の重要性について認識し、理解が深められるよう、様々な取組を行っています。その取組の一環として青森県で行っている活動の1つが「青森県土砂災害防止講演会」です。

今年度は、6月30日（金）に開催し、県及び市町村の砂防・防災担当者や建設業関係者などの日頃から土砂災害に直接携わる機会の多い方のほか、土砂災害防止に興味のある一般の方も対象として行いました。

砂防・地すべり研究センターの南氏、日本気象協会気象予報士の関口氏の2名に講師をお願いしました。南氏からは、砂防及び国土保全学についての研究から得た砂防関係事業に係る技術により、土砂災害から国土と生活を守るためにはどうしたらよいかという観点からご講演いただきました。関口氏からは、青森県の近年の雨のトレンドの変化や大雨に備えた心構え、防災情報の見方についてご講演いただきました。

今後もこのような活動を通して土砂災害による人的被害の軽減に努めていきたいと考えています。



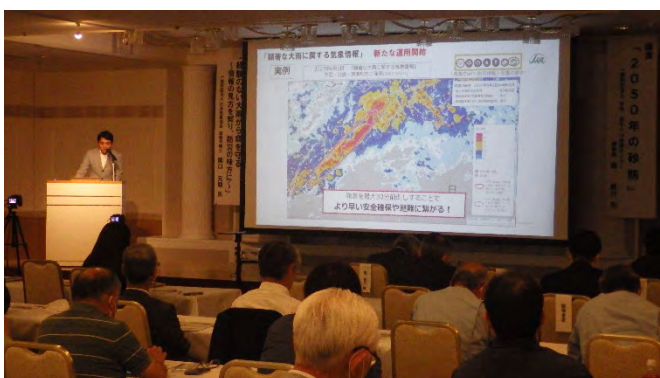
県土整備部長挨拶



講演会の様子



砂防・地すべりセンター 南氏の講演



関口気象予報士の講演

編集・発行 青森県河川砂防課

〒030-8570 青森市長島 1-1-1 青森県河川砂防課内 TEL017-734-9670/FAX017-734-8191

河川砂防課ホームページ： <http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/>

E-mail： [kasensabo@pref.aomori.lg.jp](mailto:kasensabo@pref.aomori.lg.jp)